

第77回人権週間

12月4日から10日は「第77回人権週間」です。本校では、この期間を、子どもたちが自分自身を大切に、互いを尊重し合う心を育てる大切な機会として位置づけています。学校生活の中には、挨拶や言葉かけ、友だちへの接し方など、日々の何気ない行動の一つひとつに人権意識が表れます。ちょっとした言葉が誰かの心を温かくすることもあれば、何気ない行動が相手を傷つけてしまうこともあります。だからこそ、人権について考えることは特別な時間に限らず、毎日の生活そのものと深くつながっています。

今年度の本校の教育活動では、「温かい人間関係づくり」や「なかよしタイム・宝っ子タイム」など、学年や学級を越えた交流を通して、互いの良さを見つけ合い、認め合う取組を継続しています。人権週間は、これらの取組をさらに深め、子どもたちが具体的な場面を通して“やさしさを形にする力”を育む大切な期間です。道徳科の学習では、相手の立場に立って考えることや、多様な考え方を尊重する姿勢について学び、学級活動では、クラスの仲間との関わり方を改めて見つめ直す時間を設けています。また、困っている友だちに声をかけること、気持ちよく過ごせる言葉遣いを意識することなど、日常生活に根ざした実践にもつなげています。

人権週間を通して、宝小学校の子どもたちが、「自分も大切、友だちも大切」という思いをより深く心に育て、日々の学校生活の中で温かさを届けられるよう、教職員一同、丁寧に支えてまいります。

宝小の取組

- ・人権週間放送 12月4日(木)お昼放送時
- ・読み聞かせ
- ・NHK for school 視聴
- ・DVD視聴
- ・道徳や学活での人権に関する授業
- ・各学級での人権に関する呼びかけ
- ・人権に関するポスター・習字の取組
- ・人権に関する標語の取組
- ・人権アンケート

人権講話

12/1

◎校長による講話

今日は「人権」について、みんなと考えてみたいと思います。

人権とは、一人ひとりが生まれながらに持っている大切な権利のことです。ちょっとむずかしい言葉ですが、「みんなが幸せに生きるために、誰にでも与えられている大切な約束ごと」と考えるとわかりやすいかもしれません。

たとえば、みなさんには「自分らしく生きる権利」があります。好きなことに挑戦したり、自分の考えを言ったりしていいのです。でも、それは自分だけではなく、友だちにも同じようにあります。だからこそ、相手の思いや考えを大切にすることが、人権を守ることにつながります。

ここで一つ、お話をします。ある子は、休み時間に一人で本を読んでいるのが好きでした。ところが、周りの友だちは「なんで遊ばないの？」とからかってしまいました。その子はとても悲しくなりました。でも、ある友だちが「その子にはその子の楽しみがあるんだよ」と言ってくれたのです。みんなはハッと気づき、からかわなくなりました。その子は安心して本を読み、やがてみんなにおすすめの本を紹介してくれるようになりました。

このように、人の違いを認め合うと、お互いにもっと楽しく、安心して学校生活を送ることができます。みなさんも今日から、友だちの気持ちに耳をかたむけてみましょう。「ありがとう」「いっしょにやろう」という言葉をかけてみましょう。それが人権を大切にする一歩です。

みんなで、笑顔があふれる学校をつくっていきましょう。